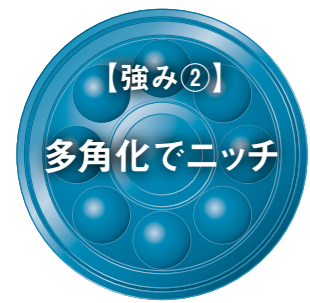


# 第1章 ミネベアミツミの価値創造ストーリー



## 強い技術をベースに ニッチ分野を中心に多角化経営

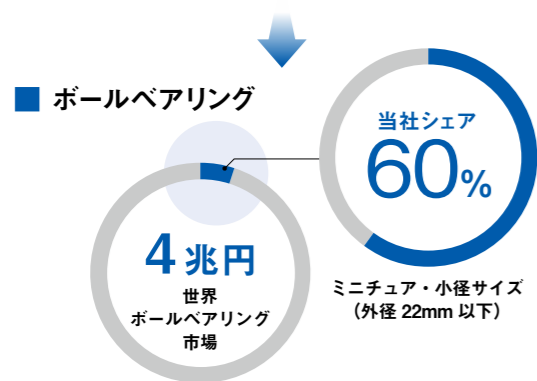


ニッチな領域での高シェア・高収益

ミネベアミツミの強みは、ニッチなセグメントで高シェア・高収益を獲得するビジネスモデルです。この戦略は、創業時のコア事業であったベアリング事業において、ミニチュアサイズに焦点をあてたところから始まっています。さらに、ベアリングで磨いた超精密機械加工技術などを基盤とし、「なくなるもので、市場が大きい事業」「当社の強みを発揮できるだけでなく、既存の製品や技術とシナジーが発揮できる」を判断基準としながら多角化を図り、事業規模拡大につなげてきました。当社はこれからもポートフォリオの選択と集中により、新たな価値の創出に挑みます。

### ニッチな領域で勝負

ミニチュア・小径サイズに特化することで、シェアも収益力もアップ(外径22mm以下)



■ モーター  
HDD駆動用モーター ———— 世界2社  
複合機用各種モーター ———— 圧倒的シェア

■ 液晶用LEDバックライト  
液晶ディスプレイの用途  
● テレビ  
● ノートPC  
● タブレットPC  
● スマートフォン  
● 車載ディスプレイ ほか  
ハイエンドミドルレンジローエンド  
圧倒的シェア

### 7本槍

当社の強みである技術をベースにした、事業の中核となる製品

- 1 ベアリング
- 2 モーター
- 3 センサー
- 4 コネクタ/スイッチ
- 5 電源
- 6 無線/通信/ソフトウェア
- 7 アナログ半導体

### 多角化/ポートフォリオの選択と集中

ニッチな領域の範囲で多角化とは、すなわち選択と集中。開発・M&A・事業撤退を適切に判断しながらポートフォリオを強化

#### ■ 新製品の開発

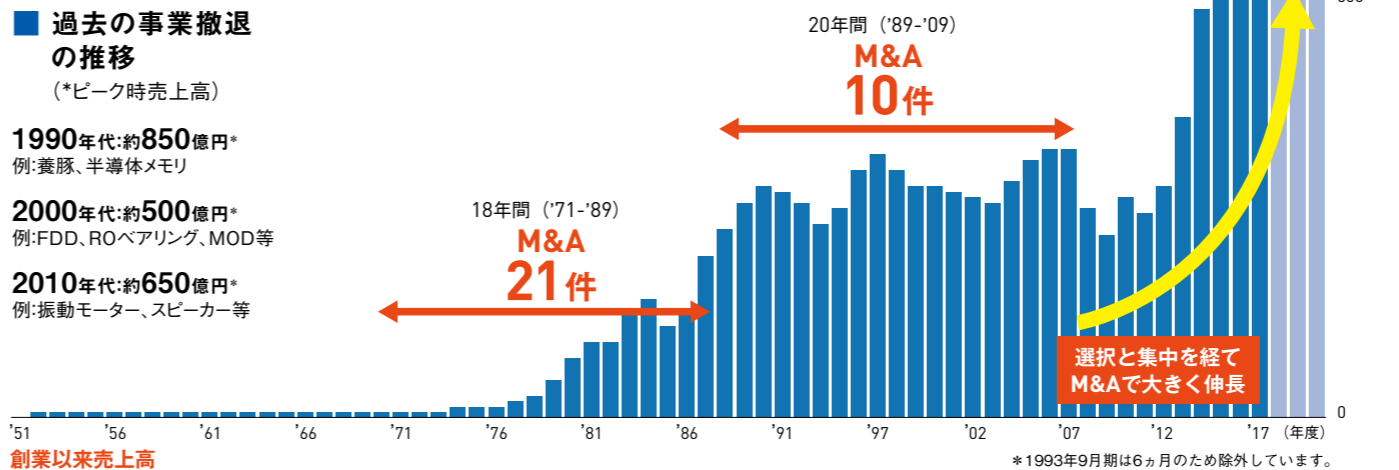
- ・スマート道路灯(2014年)
- ・Wavy Nozzle(2015年)
- ・SALIOT(2015年)
- ・ベッドセンサー(2017年)
- ・フィルム型高感度ひずみゲージ「ミネージュ™」(2017年)
- ・レゾナントデバイス(2018年)

#### ■ 過去の事業撤退の推移 (\*ピーク時売上高)

- 1990年代:約850億円\*  
例:養豚、半導体メモリ
- 2000年代:約500億円\*  
例:FDD、ROベアリング、MOD等
- 2010年代:約650億円\*  
例:振動モーター、スピーカー等

#### ■ M&A(47年で47社)

- ・C&A Tool Engineering, Mach Aeroグループ(2017年)
- ・ミツミ電機(2017年)
- ・Sartorius Mechatronics T&H GmbH(2014年)
- ・CEROBEAR GmbH(2013年) 等



### 圧倒的シェア

HDD(ハードディスクドライブ)用ピボットアッセンブリー  
世界シェアNo.1



### 高い利益率

■ 営業利益率  
約25%  
機械加工品事業